２０２１年1月２６日

各位

高山信用金庫

「ＳＣＢふるさと応援団」を活用した高山市への寄附について

高山信用金庫（理事長　坂口　秀平）は、信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫（東京都中央区　理事長　柴田　弘之）の地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の仕組を活用した地域創生推進スキーム「ＳＣＢふるさと応援団」（以下、「本スキーム」という。）による寄附の実施にあたり、高山市（市長　國島　芳明）の「下町エリアのまちづくり」事業（以下、「当事業」という。）を推薦したところ、寄附対象事業として選定されました。

本スキームは、信金中央金庫が創立７０周年を記念して全国の信用金庫・地方公共団体に対して募集したもので、２０２０年１０月に当事業を高山信用金庫の推薦を受け高山市が応募、１２月に実施された学識経験者等で構成する審査会を経て、寄附対象事業として１千万円の寄附が決定したものです。

高山市は、高山市第八次総合計画（高山市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に基づき、当事業を通じて下町エリアにおける、まち歩きの楽しさを高めるための利便性や回遊性の向上、魅力ある商業空間の形成、町並みの景観保全などに取り組むもので、今回の寄附は来年度予定している賑わい創出施設の整備に活用することとしています。

高山信用金庫は、本取組を通じて高山市と更なるリレーションを強化することで、地域創生に向けた取組を加速させ、新型コロナウィルス感染症等による影響を受けている地域経済を応援いたします。

この度、２０２１年1月２５日に高山市役所にて寄附金目録贈呈式を行いました。

左から信金中央金庫　理事　花岡名古屋支店長、高山市　國島市長、
高山信用金庫　坂口理事長